TIST
Tsukuba Institute of Science & Technology

こども未来学科
令和４年度４学年用　前期シラバス

筑波研究学園専門学校

令和４年度　４学年　前期シラバス

目　次

児童教育専攻科

【教科目名】	【授業科目名】	ページ数
教職科目	生徒指導・進路指導	1
	国語科指導法	2
	算数科指導法	3
	理科指導法	4
	社会科指導法	5
	家庭科指導法	6
	図工科指導法	7
	総合的な学習の時間の指導法	8
	特別支援論Ⅰ	9
教科科目	国語	10
	算数	11
	理科	12
	社会	13
	生活	14
	書写	15
	保育内容（人間関係Ⅱ）	16
	保育内容（健康Ⅱ）	17
	保育内容（環境Ⅱ）	18
	保育の表現技術（合奏）	19
	保育の表現技術（身体）	20
総合研究	児童教育研究Ⅰ	21
	児童教育研究Ⅱ	22
学外実習	（選）小学校教育実習指導	23
	（選）児童教育研究Ⅴ	24
	介護体験実習	25
	地域ボランティア	26

【実務経験のある教員等による授業科目】

授業科目名：**生徒指導・進路指導**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教職に関する科目	・生徒指導、教育相談等 ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法
飯塚　久男	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭（美術） [研究テーマ]教育・進路指導・教育課程分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

児童生徒一人ひとりの人格を尊重しつつ、社会的な能力・態度の育成を図り、さらに現在及び将来における自己実現を行う力の育成を目指す「生徒指導」のあり方を学ぶ。自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもって、進路を自己の意思と責任で選択し決定することができる「進路指導」のあり方を学ぶ。

授業の概要

本授業は、「生徒指導の意義と原理」「すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方」「児童生徒の抱える生徒指導上の課題」「養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との構内の連携も含めた対応の在り方」などを中心に進めていく。特に児童生徒全体への指導においては、チームによる支援、学校種間や学校間の連携の重要性について理解を深めていく。進路指導においては、学校で学ぶことと社会との接続を踏まえ、一人一人の社会的・職業的自立に向けた必要な資質・能力を育む進路指導・キャリア教育の意義や原理について学んでいく。

授業計画

１．生徒指導の原理
２．生徒指導と教育課程との関連
３．進路指導の原理
４．生徒指導の組織体制
５．児童・生徒の問題行動とその対応
６．生徒指導体制のあり方
７．児童・生徒理解と生徒指導の方法
８．児童・生徒理解の意味と機能
９．生徒指導の方法　集団指導
10．生徒指導の方法　個別指導
11．進路指導の理念と実際
12．進路指導の進め方
13．キャリア教育
14．無職少年問題について
15．生徒指導推進計画実践例
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「生徒指導・進路指導」長瀬善雄／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**国語科指導法**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・国語（書写を含む。）
太田　裕子	[実 務 経 験]特別支援学校教諭・日本語教師 [研究テーマ]教育学・学校教育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

国語は日常生活に必要な役割を果たすとともに、知的活動の基礎となる重要な存在である。学習指導案の作成および実地の授業の模擬演習を行い、国語の指導への経験を積んでいく。

授業の概要

各領域の具体的な教材研究のあり方について事例研究を行う。全体指導計画に基づく学習指導案を作成し、評価基準の設定に取り組むとともに授業研究を行う。授業を組み立てる力を育成し、授業改善の指標を明らかにする。

授業計画

１．授業オリエンテーション
２．国語科教育の目標・内容
３．「話すこと・聞くこと」領域
４．「書くこと」領域
５．「読むこと」領域
６．「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
７．読書指導
８．国語科教材研究の方法
９．国語科教材研究の視点
10．国語科学習指導案の実際
11．指導案作成①
12．　〃　②
13．　〃　③
14．授業研究
15．学習評価について
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「国語科指導法」渡瀬茂／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。
教科書、辞書等忘れ物をしないこと。

授業科目名：**算数科指導法**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・算数
倉田　通男	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（数学） [研究テーマ]数学科・教育学分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身につけ、日常の事象についての見通しをもち、筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさを学ぶ。

授業の概要

この授業では、小学校算数科の指標ができる教師を育成するために算数的活動や教具の活用法、学習形態などを考え指導方法を習得することを目的とする。どのような算数的活動の場を設定するのか、知識・理解の獲得をより確かなものにするためにはどのような指導方法を用いるのかを具体的に検討し、授業研究において実践的に学ぶ。

授業計画

１．授業オリエンテーション、なぜ算数を学ぶか
２．算数教育とその目標の変遷
３．新学習指導要領算数の改訂のポイント
４．算数的活動による学び
５．問題解決と数学的な考え方
６．整数と計算　指導の背景と実際
７．小数と計算　指導の背景と実際
８．分数と計算　指導の背景と実際
９．量と測定　　指導の背景と実際
10．図形　　指導の背景と実際
11．数量　　指導の背景と実際
12．指導案作成①
13．　〃　　②
14．授業研究
15．学習評価について
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「算数教育の理論と実際」数学教育研究会／著（聖文新社）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**理科指導法**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・理科
森嵜　正幸	[実 務 経 験]小学校教諭 [研究テーマ]教育・教育方法・教育課程・理科・保育内容「環境」分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

理科教育は実験や野外観察を通して発見学習や思考学習などが必要となる。自らの授業体験や指導案の作成を行い、教員としての心構えや実践力を養う。

授業の概要

本校議のテーマは「与えられて学ぶ理科」から「教えるための理科」へ転換するところにある。「やる気」を起こさせるにはどうすればいいのか、教える側の立場で実践から学ぶ。

授業計画

１．授業オリエンテーション、理科の目標
２．理科の変遷と改訂の要点
３．物理分野の学習材と指導例
４．化学分野の学習材と指導例
５．生物分野の学習材と指導例
６．地学分野の学習材と指導例
７．学習指導案①
８．　〃　②
９．指導計画作成①
10．　〃　②
11．導入の工夫
12．問題解決学習、系統学習、探究学習
13．安全指導
14．理科学習の評価と授業研究①
15．　〃　②
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「理科指導法」内山裕之・秋吉博之・溝邊和成／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**社会科指導法**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・社会
塩野　健一	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（保健体育）・放課後児童クラブ主宰 [研究テーマ]教育・教育課程・社会科・体育科分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

社会科教育の目標、内容及び指導の方法について理解するとともに、社会科担当教員として必要な基礎的基本的な知識を身につける。また、使命感を養うことを目標として、講義と授業研究を行なう。

授業の概要

学習指導要領における社会科の目標と内容について解説した後、社会科の基本的な方法原理「問題解決」「理解」「説明」「議論」について、具体的な授業実践を事例として考究する。さらに、社会科の学力・評価理論、教材研究の理論、学習指導の具体的な方法について学びを深める。以上を通して、授業研究を実施し、授業設計を行うことのできる実践的な能力を身につける。

授業計画

１．授業オリエンテーション、社会科改訂の考え方
２．学習指導要領社会科改訂のポイント
３．年間指導計画作成のポイント
４．新しい授業作りに向けて、法やきまりに関する内容
５．自然環境、伝統や文化などの地域資源の保護、活用に関する内容
６．我が国の国土に関する内容
７．情報通信に関する内容
８．問題解決的な学習を充実させる方法
９．社会科の成立
10．個を活かした社会科の授業づくり
11．ICTを活用した社会科の学習指導法
12．社会科における調べ方、学び方の指導法
13．単元指導計画と学習指導案の設計
14．授業研究
15．指導と評価について
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー」原田智仁／編著（保育出版社）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**家庭科指導法**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・家庭
塙　光子	[実 務 経 験]高等学校教諭（家庭科） [研究テーマ]家庭科分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

衣食住などに関する実践的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的な知識と技能を習得させるとともに、家庭生活についての理解を深める。また、家族の一員として家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

授業の概要

小学校家庭科は、実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得させることにある。家庭科指導法では、学生の指導力と評価力を高めることを目標として、学習指導案及び評価基準の作成を取り入れ、教育現場で役立つ実践力を高めたい。また、児童が興味関心をもつような学習教材の開発や新たな指導方法などについて取り組む指導者としての資質・能力を身に付ける。

授業計画

１．授業オリエンテーション　新しい家庭科が目指すもの
２．学習指導要領改訂のポイント①
３．　　〃　　②
４．指導項目について
５．新しい授業作りにむけて
６．年間指導計画作成のポイント
７．実践・新しい授業づくり①
８．　　〃　　②
９．学習指導案作成①
10．　　〃　　②
11．授業研究
12．裁縫の基本と指導法①
13．　　〃　　②
14．調理の基本と指導法①
15．　　〃　　②
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**図工科指導法**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・図工科
冨金原　光秀	[研究テーマ]造形教育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

図工科の教育目的と内容を理解し、学習指導要領に基づいて「A 表現」「B 鑑賞」、新たに導入された「共通事項」も含めて学ぶ。理論的な面と実践的な教材研究も交えながら学習指導の力を身に付ける。

授業の概要

小学校「図画工作」の授業を行うために必要な知識と技術を学ぶ。幼稚園での表現内容（５領域の造形分野）と低学年（１、２年）の図画工作の関連、さらに、中学年（３、４年)、高学年（５，６年）の身体や精神の発達を踏まえた発想や表現力について理解する。絵画、立体、工作、造形遊びを中心に、講義、演習課題、指導のポイント等をいくつかの課題を行いながら、授業を進める。授業計画（指導案)、評価等について講義、課題などで実践指導を学ぶ。(情報機器、教材利用)

授業計画

１．図画工作科教育について
２．小学校学習指導要領図画工作編の目標・内容
３．図画工作科の構成
４．図画工作科の内容について
５．指導計画の作成と内容の取扱い
６．造形遊びをする活動
７．絵に表す活動
８．立体に表す活動
９．他教科や総合的学習との関連での表現活動について
10．鑑賞について
11．図画工作科指導計画について
12．図画工作科指導案作成について①
13．　　〃　　②
14．授業研究
15．学習評価について
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」(文部科学省)
「図工科指導法」井上龍彦／著（姫路大学)

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**総合的な学習の時間の指導法**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）
塩野　健一	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（保健体育）・放課後児童クラブ主宰 [研究テーマ]教育・教育課程・社会科分野 姫路大学通信教育部非常勤講師
福田　翔平	

授業の到達目標及びテーマ
・総合的な学習の時間の意義と原理の理解
・総合的な学習の時間の学習指導の基本的な考え方
・総合的な学習の時間における指導計画の理解
・総合的な学習の時間の指導と評価の理解

授業の概要
本授業は、変化の激しい社会に対応して「生きる力」を育むために自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動できる子どもを育成する指導法について概説する。具体的には横断的・総合的な学習、探究的な学習などに主体的、創造的協働的に取り組むことが出来るようにするための学習指導の基本的な考え方、目標、育てようとする資質や能力及び態度と内容の関係、評価、校内組織の整備などについて学修する。

授業計画
１．授業オリエンテーション
２．総合的な学習の時間の趣旨
３．総合的な学習の時間のねらい
４．総合的な学習の時間の学習の在り方について①
５．　　〃　　②
６．他者と協同して課題を解決する意義について①
７．　　〃　　②
８．地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題の設定の意義①
９．地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題の設定の意義②
10．総合的な学習の時間における体験活動の適切な位置づけ①
11．　　〃　　②
12．総合的な学習の時間における児童の学習状況の評価について①
13．　　〃　　②
14．探究的な学習にするための要件①
15．　　〃　　②
16．試験

テキスト
「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）

参考書・参考資料等
プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価
出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**特別支援論Ⅰ**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教育の基礎的理解 に関する科目	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解
青柳　賢治	[実 務 経 験]教育相談員・スクールカウンセラー・高等学校教諭（英語） [研究テーマ]教育相談・発達心理学・教育心理学分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

特別支援教育の理念や課題について理解する。また、特別支援教育の対象となるこども達への支援・指導のあり方について仲間と協働して考察する。

授業の概要

各障がいについてその症状と支援および障がい児支援の歴史、インクルージョン・特別な配慮を要するこどもの保育・教育を支える理念および制度について習得し、特別支援を必要とするこどもへの支援に関する基礎力の育成をめざす。

授業計画

１．自閉症スペクトラムのコミュニケーションの障がいに対する援助方法
２．ICFにおける「障がい」の考え方、特徴
３．聴覚障がいへの特別な対応について
４．ADHDへの早期における教育対応の重要性、留意点
５．DSM-5に基づくLDの３つの主症状
６．発達障害のあるこどもへの教育上、保育士、教師としての心得①
７．発達障害のあるこどもへの教育上、保育士、教師としての心得②
８．知的障がいについての特徴①
９．　　〃　　②
10．知的障がいへの対応方法①
11．　　〃　　②
12．重症心身障がい児への発達支援のポイント
13．インクルーブ教育について
14．インクルーブ教育の合理的配慮について①
15．　　〃　　②
16．試験

テキスト

「特別支援論Ⅰ」小河晶子・西本望／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**国語**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

領域および保育内容の 指導法に関する科目	・領域に関する専門的事項 ・国語
太田　裕子	［実 務 経 験］特別支援学校教諭・日本語教師 ［研究テーマ］教育・学校教育・国語科分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

国語の基礎力となる聞くこと、話すこと、読むこと、書くことを能動的に行うことにより、基礎力を身に付けると共に、幼児・児童の実態に即した国語教育のあり方を学ぶ。

授業の概要

幼児児童のことばの発達を助けたり、小学校の国語科の教授を行ったりするための基礎を学ぶ。国語についての知識を学び、国語への認識を深め、日常的なことばを客観的・反省的に捉え、よりよく使用できるように、国語への意識を高めることを目的とする。具体的には、国語の音韻音声・文法・語彙・文字・歴史・方言・国語政策など、国語を構成する各分野についての概説を行うとともに、言語の習得などについても扱う。その過程から美しい日本語の表現に気付き、豊かな感性を養う。

授業計画

１．オリエンテーション
２．母語とは
３．日本語の系統　通用範囲　公用語
４．日本語の歴史
５．話し言葉と書き言葉
６．仮名遣いの変換
７．こどもの言語習得について
８．言語の恣意性
９．こどもの言語権
10．日本語の文法の特徴
11．敬語
12．人の成長と語彙
13．語彙の三分類
14．助数詞について
15．試験対策
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「国語Ⅰ（国語）」渡瀬茂／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。
レポート提出期限厳守のこと。

授業科目名：**算数**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科に関する科目	・算数
倉田　通男	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（数学） [研究テーマ]数学科・教育学分野 姫路大学通信教育部非常勤講師
山口　朋彦	[実 務 経 験] 進学塾・予備校講師 [研究テーマ] 数学科

授業の到達目標及びテーマ

算数教育の特徴的な条件は、構造的な系統性と抽象性である。この二つの主要な視点より、教材研究についての講義を行なう。

授業の概要

小学校算数科の主要な単元に関する教材研究を通して、算数科の学習内容を学ぶとともに、算数科の教材研究の方法を習得することを目的とする。そのためにはまず、こどもの実態を把握するために授業ビデオを視聴し、次に小グループに分かれて担当する学習内容について指導案を作成・発表し、算数科の学習内容に対する理解を深めることとする。

授業計画

１．授業オリエンテーション
２．学習指導要領の改訂のポイント
３．1年生の内容
４．2年生の内容
５．3年生の内容
６．4年生の内容
７．5年生の内容
８．6年生の内容
９．指導案作成①
10.　〃　②
11.　〃　③
12. 授業研究①
13.　〃　②
14.　〃　③
15. 総括
16. 試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「新訂算数教育の理論と実際」数学教育研究会／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**理科**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科に関する科目	・理科
森嵜　正幸	[実 務 経 験]小学校教諭 [研究テーマ]教育・教育方法・教育課程・理科・保育内容「環境」分野 姫路大学通信教育部非常勤講師
山口　朋彦	[実 務 経 験] 進学塾・予備校講師 [研究テーマ] 数学科

授業の到達目標及びテーマ

小学校理科学習指導要領に起おいて目指している理科の資質・能力を整理するとともに求められる「見方・考え方」についての理解を深める。

授業の概要

小学校理科の変遷を学び、今回の改定の基本的な考え方やポイントを整理する。新しい理科の目指すところを理解し、さらに各学年で育成する資質、能力を視座に入れ、内容を確認していく。

授業計画

１．授業オリエンテーション
２．学習指導要領
３．理科指導要領の変遷①
４．　　〃　　②
５．物理領域内容の基本事項
６．化学領域内容の基本事項
７．生物領域内容の基本事項
８．地学領域内容の基本事項
９．中学校理科との関連
10．理科と環境教育
11．学習指導案作成①
12．　　〃　　②
13．　　〃　　③
14．授業研究①
15．授業研究②
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「理科」内山裕之・秋吉博之／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**社会**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法 に関する科目	・教科に関する専門的事項 ・社会
塩野　健一	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（保健体育）・放課後児童クラブ主宰 [研究テーマ]教育・教育課程・社会科分野 姫路大学通信教育部非常勤講師
秋葉　純	[実 務 経 験]高校教諭（社会） [研究テーマ]キャリア教育、社会科・生活科教育

授業の到達目標及びテーマ
・新学習指導要領（社会）における目標、および、各学年の目標と内容
・社会科の位置づけ及び課題
・学習指導上の留意点についての理解
・評価の観点についての理解

授業の概要
「学指導要領」（社会）の目標、および各学年の目標と内容を認識する学習を進め、指導計画の作成について欠かせない基本的な知識を着実に身につけること、および、具体的な学習の指導計画を事例として、その特色を分析しながら、指導計画作成の根本原理を習得する。

授業計画
１．授業オリエンテーション　　新しい社会科がめざすもの
２．情報化した社会に関する内容
３．方位、地図に関する内容
４．経済の基礎となる内容
５．法やきまりに関する内容
６．地域の人々の協力に関する内容
７．47都道府県の名称と位置に関する内容
８．地域の資源の保護・活用に関する内容
９．世界の主な大陸や海洋　主な国の位置
10．自然条件から見て特色のある地域の人々の生活
11．歴史分野　国風文化
12．歴史分野　室町文化
13．歴史分野　町人文化
14．政治、憲法と国民生活
15．試験対策
16．試験

テキスト
「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「小学校社会科教育」社会認識教育学科／著（学術図書出版社）

参考書・参考資料等
プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価
出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**生活**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教科及び教科の指導法に関する科目	・各教科の指導法（情報機器及び教科の活用を含む。） ・生活
塩野　健一	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（保健体育）・放課後児童クラブ主宰 [研究テーマ]教育・教育課程社会科・生活科分野 姫路大学通信教育部非常勤講師
秋葉　純	[実 務 経 験]高校教諭（社会） [研究テーマ]キャリア教育、社会科・生活科教育

授業の到達目標及びテーマ

幼児期・児童期にふさわしい生活のあり方について一般的な視点から理解する。また、幼児期に焦点をあて、生活保育のあり方、進め方について実践的に学ぶ。さらに児童期に焦点をあて、小学校の生活科を中心に具体的な活動や生活経験を教育的に意味づけることを学んでいく。

授業の概要

改訂された新学習指導要領のポイントを理解し、生活保育の在り方や進め方に関する知識を深める。また、幼児期の遊びを通した総合的な学びからより自覚的な学びへの円滑な移行ができる学習指導力育成のため、指導案作成にも取り組む。

授業計画

１．生活保育の理念
２．生活保育の思潮①
３．　　〃　　②
４．幼稚園教育要領・保育所保育指針と「生活」の関係
５．生活をふまえた保育内容
６．幼児の遊びと生活保育
７．幼児の内面理解
８．生活保育の展開と指導案
９．指導案作成
10．授業研究
11．こどもをめぐる社会
12．移りゆく社会生活と子育ての変容
13．地域の生活環境の変容と子育て支援
14．幼児教育の振興と保・幼小連携推進の施策
15．生活保育から「生活科」への連携
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「生活」小林邦子・内山裕之・長瀬善雄・川渕博祥・田井敦子・和田真由美／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**書写**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H

教科及び教科の指導法に関する科目	・教科に関する専門的事項 ・国語（書写を含む。）
早川　礎子	[実 務 経 験]読売書法会玄筆会毛筆六段位 [研究テーマ]姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

小学校国語科書写の学習指導に必要な知識・技能を高め、その学習指導法に関する理解を深める。学習指導要領の趣旨に則った書写の授業を展開できるようになる。

①小学校国語科書写の目標・内容・方法を理解して授業を組み立てることができる。（知識・理解）

②小学校国語科書写の内容と指導法に関心をもち、すすんで実技力を高め、指導法を工夫しようとしている。（関心・意欲・態度）

③教材研究及び授業研究の方法を理解し、指導に必要な実技力を習得する。（技能・表現）

授業の概要

字形の認知、また筆使いの習得の為、用筆、形態美、線の鋭さ、点画の厳しさなど、極楷とも言われる楷書の代表的な「九成宮乏醴泉銘」の臨書を中心に行う。毛筆→書道→芸術という発想になりがちではあるが、毛筆→硬筆→日常文書という発展を考え、正しく、整えて速く各能力を習得し、文字活動を円滑に営むことのできる基礎力を充実させる。また、適切に表現する能力を育てるとともに、番書や報告書等、小学校教員として必要となる「文字を美しく書く」という実践力を養い、応用性を身につけさせる。

授業計画

１．小学校国語科書写指導の現況、目標、内容及び扱い方
２．書写に関する基礎的知識－筆順・いわゆる許容される書き方
３．文字の中心と概形、書写用具の扱い方、基本点画
４．点画の組み合わせ方－点画の長短・方向・接し方・交わり方
５．文字の組み立て方①左右から成る文字・上下から成る文字
６．文字の組み立て方③内外から成る文字、練習用紙の作成法、評価方法
７．仮名の字形の整え方－筆使いと字形
８．文字の大きさと配列（硬筆）①
９．　　〃　　②
10．様々な書式と筆記具の選択
11．書写の日常化－速書きの書写リズム、板書練習
12．書写の基本的学習指導過程、授業研究
13．実態調査の方法、書写教材の選択と配列法、教育機器の活用法
14．学習指導案の作成①
15．　　〃　　②
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）

参考書・参考資料等

「30日でみるみる美しい字になる朝のペン字練習帖」樋口咲子／著（ナツメ社）
「板書　きれいで読みやすい字を書くコツ」樋口咲子・青山由紀／著（ナツメ社）
「漢字指導の手引き」久米公／編著（教育出版）

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。
授業時に次時の予告をするので、指示されたテキストの該当箇所を読み、準備して授業に望むこと。
授業時間外にも硬筆練習を行い、書写技能の習熟を図ること。
受講生の理解や進度にあわせて課題は適宜取り入れる。

授業科目名：**保育内容（人間関係Ⅱ）**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H

領域および保育内容の指導法に関する科目	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
湯浅　阿貴子	[実 務 経 験]幼稚園教諭 [研究テーマ]保育内容・保育内容「人間関係」・保育課程論・発達障害児・発達心理分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

領域「人間関係」におけるねらいと内容について理解を深めるとともに、生活場面における幼児の様々な「人とのかかわり」とその育ちについての理解を深める。

授業の概要

教育の場で、一人ひとりが大切にされ、こどもの理解を深めながら、互いが豊かな関わりがもてる集団を形成するにはどのような課題があるのか、保育における人間関係を様々な側面から考察し、事例をもとに学ぶ。

授業計画

１．幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「人間関係」を理解する
２．領域「人間関係」と他領域との関係
３．乳幼児期の発達
４．幼児と保育者の信頼関係の形成・園生活と人との関わり
５．自己発揮と自己抑制
６．幼児同士の問題解決とその援助
７．人との関わりを見る視点と保育者の役割
８．人との関わりを深めるグループワーク・指導案作成
９．「協同する経験」の教育的意義と保育者の援助・小学校との連携
10．こどもを取り巻く人間関係
11．乳幼児期の発達と領域「人間関係」・信頼関係の基盤
12．こどもと保育者の信頼関係　遊びの中の人との関わり
13．自我の発達と自己主張・自己抑制
14．個と集団の育ち・協同性を育む・規範意識と道徳性の芽生え
15．幼児教育の今日的課題
16．試験

テキスト

「幼稚園教育要領解説」（フレーベル館）
「保育所保育指針解説」（フレーベル館）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

授業態度、試験をもって評価する。

授業科目名：**保育内容（健康Ⅱ）**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H

領域および保育内容の指導法に関する科目	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
唐澤　優江	[実 務 経 験]高等学校教諭（保健体育）・舞踊家・ダンス教室講師・ ピラティスインストラクター・幼児運動指導者 [研究テーマ]舞踊教育・幼児体育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

こどもが経験する園での集団生活を通して、健康で安定した生活を送るために必要な態度や習慣を培う指導方法を知り、保護者との連携方法についても理解する。

授業の概要

「保育内容（健康Ⅰ）」の学習内容をもとに、日常生活における身の回りのことを自分でする基本的生活習慣の確立、遊びや集団生活を通して友達や教育者・保育者などの他者との関わり方など、こどもが健康で安定した生活が送れるような態度や習慣を培う指導方法について学ぶ。指導案の作成や活動の実践を演習形式で体験することにより、こどもの健康教育及び安全教育に関する理解を深める。

授業計画

１．幼稚園教育要領及び保育所保育指針における「健康」を理解する
２．他領域との関係と基本的生活習慣
３．こどもの健康問題及びこどもの生活の変化と健康
４．交通安全指導
５．集団生活における健康について
６．集団生活における必要な態度・習慣
７．形態の発育と機能の発達
８．個人の発育・発達のとらえ方及び発育発達の測定と評価
９．事故防止その対応①
10.　　〃　　②
11．健康指導の事例①
12.　　〃　　②
13．領域「健康」に関する年間行事
14．健康・衛生・安全管理
15．今日的課題と小学校体育科に向けて
16．試験

テキスト

「幼稚園教育要領解説」（フレーベル館）
「保育所保育指針解説」（フレーベル館）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

授業態度、試験をもって評価する。

【実務経験のある教員等による授業科目】

授業科目名：**保育内容（環境Ⅱ）**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H

領域及び保育内容の指導法に関する科目	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
早川　磯子	［研究テーマ］保育内容「環境」分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

私たちは、社会環境、自然環境など、さまざまな環境の影響を強く受けながら、人格を形成している。その意味で、教育とは、こどもたちに望ましい環境を提供する営みともいえる。環境Ⅱでは特に社会事象について考え、こどもへの最適な社会環境を追及する。

授業の概要

こどもたちを取り巻く環境について、目指すものやかかわる力から、環境に対するかかわり方や実践力を身につけるとともに、現代的な課題にも焦点をあて、幼児教育との関係及び問題点について学ぶ。

授業計画

１．環境教育のめざすもの
２．発達段階と環境との関わりの理解
３．環境にかかわる力①
４．　　〃　　②
５．物や人とのかかわり①
６．　　〃　　②
７．物や道具とのかかわり①
８．　　〃　　②
９．標識の意味の理解
10．文字の意味の理解
11．数量の意味の理解
12．図形の意味の理解
13．幼児教育の現代的課題と環境①
14．　　〃　　②
15．環境における今日的課題
16．試験

テキスト

「幼稚園教育要領解説」（フレーベル館）
「保育所保育指針解説」（フレーベル館）
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（フレーベル館）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

受講態度、試験等により総合的に評価する。

授業科目名：**保育の表現技術（合奏）**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H
領域および保育内容の指導法に関する科目	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	
大森　淳子	[実 務 経 験]ピアノ講師・演奏家 [研究テーマ]音楽教育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師	
倉田　照子	[実 務 経 験]ピアノ講師・小学校教諭・中学校教諭（音楽）・声楽家・児童合唱団主宰 [研究テーマ]音楽教育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師	

授業の到達目標及びテーマ

合奏をする上で必要とされるリズム感や読譜力、アレンジ力を養い、実際に演奏することを目標とする。また、楽曲をアレンジし、実際に演奏（合奏）をすることで、独奏と違った楽しみを味わう。

授業の概要

こどもの表現活動の立場から音楽をとらえるために、ダルクローズ、コダーイ、オルフの音楽教育について学び、こどもの表現能力を引き出す合奏の指導法について考えるとともに、こどもの表現欲求に即した編曲法・指揮法について解説しながら、演習を交え授業を進める。

授業計画

１．オリエンテーション：音楽教育
２．こどもと音楽表現：こどもの発達と「表現（音楽)」について
３．ダルクローズの音楽教育：身体を使った表現とリズムについての学び
４．コダーイの音楽教育：わらべ歌やリズム唱による音楽表現の効果
５．オルフの音楽教育：オルフ楽器についての学び
６．楽曲の譜読み①
７．　〃　②
８．アレンジ①
９．　〃　②
10．個人研究①
11．　〃　②
12．　〃　③
13．共同研究①
14．　〃　②
15．　〃　③
16．試験

テキスト

プリントを講義時に配布する。

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、授業態度、実技試験等の結果を総合して評価する。

授業科目名：**保育の表現技術（身体）**	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：15H
領域および保育内容の指導法に関する科目	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	
唐澤　優江	[実 務 経 験]高等学校教諭（保健体育）・舞踊家・ダンス教室講師・ピラティスインストラクター・幼児運動指導者 [研究テーマ]幼児体育・舞踊教育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師	

授業の到達目標及びテーマ

幼児の発育発達と運動特性を理解し、発育発達に即した身体表現遊び、運動遊びを実践する能力を身につけることを目的とし、対象となる幼児に適した様々なテーマ（課題）の設定、環境作り、指導上の留意点を踏まえ、適切な援助や指導の実践ができることを目標とする。

授業の概要

幼児の創造性や想像力を伸ばす身体表現遊び、運動遊びを体験し、その楽しさを自ら味わい、さらに自身で工夫をして遊びを発展、創作していく。また、指導上の留意点に注意をして指導、援助することにより、新たな課題を見つけ解決していく。

授業計画

１．幼児の発育発達の特性と身体表現遊び
２．運動遊びの効果と必要性
３．幼児の身体イメージ
４．わらべ歌や手遊び歌の発展による運動遊び
５．リズムに合わせた表現運動、模倣の動き
６．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び：フープ
７．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び：ボール
８．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び：マット
９．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び
10．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び：縄
11．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び：とび箱
12．遊具を使った身体表現遊び、運動遊び：平均台ー
13．ストーリー仕立ての運動遊び ーサーキットー
14．幼児の発育発達に適した表現運動遊びの指導案作成
15．指導案に基づいた保育の実施と相互評価・振り返り
16．試験

テキスト

特になし

参考書・参考資料等

「子どもの身体表現 ～からだとこころ・あらわしてあそぼう～」 西洋子他／著 （市村出版）

学生に対する評価

授業参加の態度、課題の発表、レポートの結果を総合して評価する。

授業科目名：**児童教育研究Ⅰ（再履修科目）**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H

教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

浅野　菜津子	[実 務 経 験]保育士 [研究テーマ]家政・保育・乳幼児保育・教育分野
森嵜　正幸	[研究テーマ]教育・教育方法・教育課程分野
秋葉　純	[実 務 経 験]高校教諭（社会） [研究テーマ]キャリア教育、社会科・生活科教育
佐々木　涼	[実 務 経 験]幼稚園教諭

授業の到達目標及びテーマ

（保育原理）社会的集団保育の場としての保育所保育の在り方についての基本的な認識を得ることを目指す。保育所保育指針に基づいた保育の考え方を実践的に示しながら、保育の歴史の概略、保育の内容と方法と基本、現代社会における保育の課題等について論じる。

（教育方法論）１．教育方法の歴史を振り返り、その概要を理解する。

２．現行の教育課程及び学習指導の理論と実践について考察し、授業を教える立場から捉え、単元や学習指導過程を設計、構想することの大切さについて理解する。

３．パワーポイント等を使用しプレゼン等を試み、情報活用の技術について理解する。

授業の概要

（保育原理）保育の理念、保育の基本原理を学び、保育の歴史を通して時代による家族と社会、教育のあり方を理解する。また、「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等の内容を踏まえ、保育の質を高める保育のあり方を学ぶ。さらに、日本及び諸外国の保育制度や施設の変遷に関する学びを通して、保育に関する様々な理念や思想を知り、これからの保育のあるべき姿を考える。

（教育方法論）この授業では、これからの社会を担うこどもたちに求められる資質・能力をどのように学校教育において育成するのかを考察することが目的である。そのために、これまでの教育方法の変遷を踏まえ、新たな授業構成や授業展開及び情報機器を含めた教材の活用方法について基礎的理論を理解する。また、それらを授業においてそのように資質・能力の育成に結びつけていくのかを実践的に考察する。

授業計画　　姫路大学編入のための再履修科目

１．保育の意義	１．発達の定義
２．こどもの最善の利益を考慮した保育	２．発達段階と発達課題
３．家庭との連携	３．身体と運動機能の発達
４．保育の社会的意義	４．知覚の発達
５．保育所保育指針における保育の基本	５．ピアジェの認知発達論
６．保育の目的と目標	６．記憶の発達
７．環境による保育	７．言語・コミュニケーションの発達
８．養護と教育の一体性	８．遊びの発達
９．こどもの健康と安全	９．愛着性の発達　親子関係の成立
10．子育て支援	10．社会性の発達
11．近代の保育思想	11．道徳性の発達
12．現代の保育思想	12．人格の発達
13．保育施設の発展	13．情緒の発達
14．保育の歴史的変遷	14．こどもの発達の背後にあるもの
15．保育の現状と課題	15．発達のつまずき
16．試験	16．試験

テキスト

「保育原理」栗田あけみ・和田真由美／著（姫路大学）

「教育方法論」内山裕之・大里孝之・秋吉博之・武田富美子／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

レポート内容、試験、受講態度等を総合的に評価する。

【実務経験のある教員等による授業科目】

授業科目名：**児童教育研究Ⅱ**	授業形態：講義	単位：２単位 授業時間数：30H
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	
福田　翔平		

授業の到達目標及びテーマ

　この授業は学生自身が主体的に学ぶことを目的としている。地域ボランティア等への積極的な受講態度が求められる。

授業の概要

　これまでの学生生活や実習を振り返り、社会人になる前に自己の課題を明確にする。そして、各々の課題を克服するために、地域ボランティアに励む。

授業計画

１．授業オリエンテーション
２．自己課題の明確化
３．研究計画立て
４．地域ボランティアへの参加
５．
６．
７．
８．
９．
10.
11.
12.
13.
14.
15. 反省、総括
16. 試験

テキスト

　特になし

参考書・参考資料等

　特になし

学生に対する評価

　主体的な活動、研究態度等により総合的に評価する。

　教員としての資質を自らが磨けるよう主体的に活動すること。

授業科目名：（選）小学校教育実習指導	授業形態：実習	単位：１単位 授業時間数：30H

教育実践に関する科目	・教育実習
倉田　照子	[実 務 経 験]小学校教諭・中学校教諭（音楽） [研究テーマ]教育分野 姫路大学通信教育部非常勤講師

授業の到達目標及びテーマ

教育実習の目的・意義の理解を深めるとともに、教育実習の事前・事後において学習指導の形態、技術、児童の状態、実地授業の方法等について必要な知識や技術の確認を行う。また、実習で学んだことを話し合い、相互の学びを共有化して実践能力の向上を図る。

授業の概要

これまでに学んだ関連科目の内容を踏まえ、実習生として必要な心得や行動、教科等の指導法や学級経営の在り方などについて理解を深めるとともに教師としての責務を学ぶ。また、実習の事後においては、各自問題点を整理して課題を見出し、将来を見据えた実践的指導力の向上につなげていく。

授業計画

１．授業オリエンテーション　　小学校教育について
２．事前研究　実習の心得
３．生徒指導について
４．板書　発問と指名　ノート　机間指導　情報機器　プリント作成
５．研究授業
６．観察実習　参加実習
７．本実習　　事後研究
８．学校の組織
９．学習指導と生徒理解
10．生徒指導と自動理解
11．教育課程
12．教科の指導
13．道徳、特別活動、総合的な学習の時間の指導
14．学級経営と生徒指導
15．教員としての勤務
16．試験

テキスト

「小学校学習指導要領解説」（文部科学省）
「教育実習事前・事後指導（小学校）」
長瀬善雄・長瀬荘一・谷坂昇・野坂静枝・榎並雅之・古田貴美子／著（姫路大学）

参考書・参考資料等

プリントを講義時に配布する。

学生に対する評価

出席状況、受講態度、授業中に行う小テスト、提出課題および試験等により総合的に評価する。
小学校教育実習に向かって必要な知識、心得を学ぶ。

授業科目名：（選）児童教育研究Ⅴ	授業形態：講義	単位：１単位 授業時間数：30H
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	
福田　翔平		

授業の到達目標及びテーマ

この授業は学生自身が主体的に学ぶことを目的としている。幼児教育への研究等を積極的に行うことによって、幼稚園教諭１種免許取得するために必要な幼児教育への理解を深める。

授業の概要

幼児教育の研究等を通して、こどもへの理解を深める。

授業計画

幼児教育についてのテーマを決め、論文を作成します。授業研究を積極的に行ってください。
こどもを取り巻く現代社会の中からそれぞれ論文のテーマを見つけてください。

１．オリエンテーション
２．幼児教育についての研究テーマの決定
３．研究計画立て
４．調査・研究
５．　〃
６．　〃
７．　〃
８．　〃
９．中間発表・フィードバック
10．調査・研究
11．　〃
12．　〃
13．　〃
14．　〃
15．まとめ
16．試験

テキスト

特になし

参考書・参考資料等

図書館やインターネット等を活用すること。

学生に対する評価

主体的な活動、研究態度等により総合的に評価する。
教員としての資質を自らが磨けるよう主体的に活動すること。

授業科目名：**介護体験実習**	授業形態：実習	単位：１単位 授業時間数：56H
小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律		
栗山　智子	[実 務 経 験]社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・生活相談員 [研究テーマ]社会福祉・福祉マネジメント・介護分野 姫路大学通信教育部非常勤講師	

授業の到達目標及びテーマ

社会福祉施設および特別支援学校での「介護・介助体験」を原体験として、生あるものの尊さと共に生きることの意味、社会的弱者に対する人権意識とノーマライゼーションの思想を深める。

授業の概要

今、学校教育の現場では、経済的な効率を過度に追い求める能力主義にあって、「人間の価値観とは何なのか。」という価値観の転換を迫られている。いじめ・不登校など教育現場は困難な状況にあるが、介護等体験における社会福祉施設および特別支援学校での「介護・介助体験」を原体験として、生あるものの尊さと共に生きることの意味、社会的弱者に対する人権意識とノーマライゼーションの思想を深める。

実習内容

１．５日間

社会福祉施設（児童福祉施設、介護施設等）での利用者の介護、介助を体験する。

２．２日間

特別支援学校においての教育、支援のあり方を学び、体験する。

文部科学省による教職免許に伴う介護等体験特例法「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連絡の理念に関する認識を深めることの重要性に鑑み、教員として資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる措置を高ずる」に基づき、介護体験実習を行う。

テキスト

特になし

参考書・参考資料等

特になし

学生に対する評価

「教育職員免許法施行規則」及び姫路大学通信教育部の成績評価に則る。

決められた期間の実習になるので体調に留意すること。

授業科目名：**地域ボランティア**	授業形態：実習	単位：１単位 授業時間数：45H

専門科目	・学外実習
大森　淳子	[実 務 経 験]ボランティア活動・県共同募金会評議員 [研究テーマ]姫路大学通信教育部非常勤講師
秋葉　純	[実 務 経 験]高校教諭（社会） [研究テーマ]キャリア教育、社会科・生活科教育

授業の到達目標及びテーマ

ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。ボランティア活動を通じてコミュニケーション能力や社会性を身に付ける。

授業の概要

地域ボランティアは、地域の学童保育や社会福祉活動などへのボランティア活動を通して地域貢献と学生の質的向上に成果をあげることを目的とする。教育の厳しさや喜びを体験し、教職を目指す者としての自覚を高め、実社会の中でどのように人間関係を作り上げていけばいいのかということを実践的に学ぶ。

内容

45時間以上のボランティア活動を行い、活動報告書をまとめること。

準備として、身上書の作成、内諾依頼等を４月中に行うこと。

以下に流れを記載する。

・４月　　ボランティア先の決定
　　身上書作成
　　内諾依頼
・５月～10月　　ボランティア活動（45時間以上）
・11月　　ボランティア活動報告書
　　活動の自己評価提出

テキスト

特になし

参考書・参考資料等

特になし

学生に対する評価

ボランティア体験の活動報告書で総合評価する。なお、報告書の記載内容は、所定の用紙をあらかじめ配付するが、（１）活動日時･場所･実働時間、（２）活動内容（簡潔に）、（３）活動の自己評価(400字程度)の３項目からなる。

「教育職員免許法施行規則」及び姫路大学通信教育部の成績評価に則る。

活動報告書、自己評価提出など提出期限を守らなければ評価につながらないので注意すること。